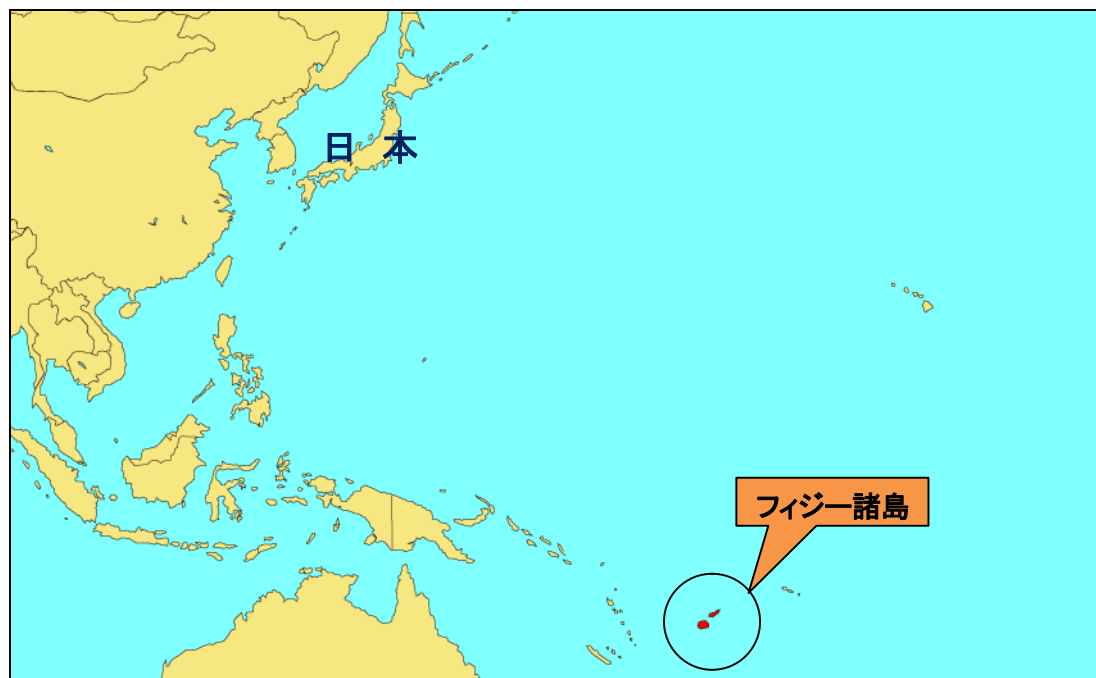


フィジー諸島で腸チフスが流行

2010年6月1日 世界保健機関情報(IHR)



フィジー諸島で腸チフスが発生し、4月1日からの3~4週間で患者30名以上が血液培養検査で確定診断され、その他に疑い患者100名以上がいると、5月26日報告されました。この流行は、Navosa 医療地域僻地の Keyasi で発生し、隣接医療地域まで拡大し始めました。この流行で2名の死亡患者も報告されています。

【撲滅運動】

保健省は、当該地域の健康上の非常事態を宣言しました。集会の禁止及び制限のための対策をとったり、腸チフスの拡大予防のための一般的な衛生方法を住民に指導しています。また、医療班が流行地の村々に派遣され、患者発見のための調査や疑い患者の治療を行っています。健康教育とあわせた水浄化剤の供給などの対策が同時にとられています。健康に関する放送が、現地の方言によりラジオで繰り返し流されています。腸チフスに対する予防接種は、オーストラリアとニュージーランド政府の援助により現在、流行地で計画されています。他の政府機関から援助が、腸チフスまん延防止のため求められています。流行地域は、島の中心部に位置し到達しにくい丘陵地です。主な課題は、道がなく孤立した村への到達、中心的医療施設との連絡、一定間隔で行政区を越えて移動する集団への対応です。